

# 化学療法治療レジメン

申請書  
計画書

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉 → 〈化学療法委員会〉

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉

芳珠記念病院化学療法委員会

治療レジメン名：	胃-20 ハーセプチン + mFOLFOX6	総投与時間：約3.5-4.5時間+46時間
申請医：渡辺 美智夫Dr	催吐性リスク：中等度	最新登録日：2022年 2月

	薬剤名	投与方法	投与量	投与日	クール
/	ハーセプチン	div	初回 8mg/kg 2回目～ 6mg/kg	D1	3週毎
	オキサリプラチン(L-OHP)		85mg/m <sup>2</sup>		2週毎
	レボホリナート(l-LV)		200mg/m <sup>2</sup>		
	5-FU		400mg/m <sup>2</sup>		
	5-FU	46hr ci	2400mg/m <sup>2</sup>	D1-3	
対象(適応癌種)	HER2陽性の再発・治療切除不能の胃がん				
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>投与中は心エコー等により、LVEFを通常3カ月毎に測定し心機能評価を行う。</li> <li>投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。なお、次回以降は6mg/kgを3週間隔で投与する。</li> </ul>				

## 1クール目 day1(ハーセプチン+FOLFOX投与時)

	薬品名【投与量】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	生食 50mL	div (ケモセーフ)	500 mL/hr			D1
Rp2	ハーセプチン【初回 mg/body】 ハーセプチン【2回目～ mg/body】 生食 250mL		500 (初回170) mL/hr	初回 8mg/kg 2回目～ 6mg/kg	初回: 2回目～:  mg/body	
Rp3	生食 50mL		500 mL/hr			
Rp4	デキサート 16.5mg(適宜減量) グラニセトロン 1A 生食 100mL		250 mL/hr			
Rp5	(側管) レボホリナート【 mg/body】 5%ブドウ糖液 250mL Rp5と同時に		125 mL/hr	200 mg/m <sup>2</sup>	mg/body	
Rp6	オキサリプラチン【 mg/body】 5%ブドウ糖液 250mL		125 mL/hr	85 mg/m <sup>2</sup>	mg/body	
Rp7	5-FU【 mg/body】 5%ブドウ糖 50mL		500 mL/hr	400 mg/m <sup>2</sup>	mg/body	
Rp8	5-FU【 mg/body】 生食【 mL】 デキサート 1.65mg(1A) (SV-2.5使用)		ci	46hr	2400 mg/m <sup>2</sup>	

ハーセプチン + mFOLFOX6

day15以降:FOLFOXのみの投与時

	薬品名【投与量】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	デキサート 16.5mg(適宜減量) グラニセトロン 1A 5%ブドウ糖 100mL	div (ケモセーフ)	250 mL/hr			D1
Rp2	(側管) レボホリナート【 mg/body】 5%ブドウ糖 250mL		125 mL/hr			
Rp3	オキサリプラチン【 mg/body】 5%ブドウ糖 250mL (Rp2と同時に)			85 mg/m <sup>2</sup>	mg/body	
Rp4	5-FU【 mg/body】 5%ブドウ糖 50mL		500 mL/hr	400 mg/m <sup>2</sup>	mg/body	
Rp5	5-FU【 mg/body】 生食【 mL】 デキサート 1.65mg(1A) (SV-2.5使用)	ci	46hr	2400 mg/m <sup>2</sup>	mg/body	D1-D3

day22以降:ハーセプチンのみの投与時

	薬品名【投与量】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	生食 50mL	div (ルート・三活)	500 mL/hr			D1
Rp2	ハーセプチン【2回目～ mg/body】 生食 250mL		500 mL/hr			
Rp3	生食 50mL		500 mL/hr			